



発行所 岩城日日新聞社 福島縣小名浜町通51 電話代表387番 編集長 藤芳郎 印刷 事務用印刷物 印刷機 長瀬印刷株式会社 TEL.219.387

松本氏豫想外に妙く 矢吹氏堂々と當選

激戦湯本町長選挙終る

湯本町長選挙は一般の予想を裏切つて矢吹庄司氏一千四百三十六票を引 き離して堂々の当選地に三万町民の審判によつて新町長は成つた

この日開票場湯本公民館 には超過数の町民が押し かけ刻々に推移してゆく 開票状況に片づき香ん でその結果を待ち住びた が、選挙管理当局はこの 勢い鋭い松本の優勢に 對して、選挙の最後二回 針を放つた。矢吹氏に 對しては、選挙の最後二 回、矢吹氏に對しては、 矢吹氏に對しては、

町民の公僕實踐 矢吹氏の當選第一聲

多額の予想を裏切つて矢 吹庄司氏は松本久吉を實に 一千四百三十六票引き離 して見事堂々の當選、新 町長の椅子を獲得したの である

この逆轉結果は、どこか 生じたか、或いは飽かれ た町政への反映と云い、 或いは松本官政政治への 町民のレジスタンスと云 う

今日の主張

松本敗因の検討と矢 吹町政に望むもの

梅野 隆

激烈な戦いを終えて湯本 町長選挙は矢吹の上の勝利 の太陽が昇つた

地元の有力者はもとより 平市、小名浜町、内郷町 等近接市町村のいわゆる 有識者と云われる連中は 等しく口を揃えて松本の 優勢を稱し、松本再選を いささかも疑わなかつ た。言論機關の観測も大



湯本町長選挙に當選した矢吹庄司氏



松本久吉氏

戦いは終つた

選挙を語りぬ小野氏

小野英三氏は矢吹氏當 選の安心と共に十日間の 激戦の疲れが、度々下ッ と現われて、一週間の 横たわつていたが選挙は 終わった。松本氏が落ちて 矢吹氏が當選したといふ 客観的事実のみで選挙だ やるべきは、要は一日

湯本町長選挙

投票率八割七分

湯本町長選挙有権者総数は 一四、九二〇、有効投票一 三、〇五二、無効投票一、 八六八、投票率は八割七分で あつた

謝感激に堪えない、こ の上はこの意義深い町 民諸氏の心を心として 選挙期間中契約した價 の民主政治への方法と して一般町民の眼を取 り上げる諸機関等の 設置を考慮して出来る だけ公平な町民の聲を 聞きこれを湯本町政に 反映したい。わしも最 後の御寒と想うから 一身を犠牲にして専ら 町のため、全生命 を投げ出しわしの人 生總決算が矢吹町政 の中に花咲きよりよく 結実するよう努力を惜 しまない決心である (富原は矢吹氏)

早く町民の決定した新 町長により朗かな政治が 確立されることで三萬町 民の福祉の上に矢吹氏が 平等に積極的の貢献をや つてくれることを望むば かりである

自分の持論であるが無競 争当選という町民の如く の在り方より今回の如く 互に政見を披瀝し合つて 町民に訴え、町民の良識 によつて選出された指導 者の在り方がより有意義 であるという信念には變 りがない、町民はすでに 次期町長を選出したので あるからして、この町民 輿論の集結が指向する新 生面を期待するものと思 われ、矢吹氏も亦 公平に三万町民の上に 理想的政策を樹立する ものと確信して、従自衛 的力路を白紙でゆき 精神一途を白紙でゆき たいと念じている (富原は小野氏)

國の創立を始めとする一 般町民の聲を町政に盛る と云う叫びも矢吹町政への 魅力としてプラスにな つた事は争えない、希く ば矢吹町政、単に選挙時 のみの口約でなく最後の 奉公を以て湯本町政に控 約として實踐して貰い たい、三万町民への愛 情が湯本湯の花と黒ダ イヤの華を咲かせると同 時に一般商店へ、自由勞 務者へ均等なる福祉の実 を挙げ得るよう切望して 止まないものである

祝☆植田郵便局開設八十周年☆5月5日

植田郵便局 局長 星 克 主任 木 崎 主事 佐川 安一 " 吉野 勝男 " 菅原 信男 " 菅原 文司 " 荒木 セツ子 " 菅原 徳太	植田町役場 町長 渡辺 國之助 助役 吉田 信雄 収入役 古川 二郎	植田町農業協同組合 組合長 高木 一郎 植田町本町 電話七五番	植田町警務署 署長 滝澤 政権	植田町消防署 署長 鷲 文治 副署長 蛭田 勝雄 坂本 喜
--	--	--	---------------------------	---

植田町教育委員会 委員長 長 瀬 武雄 副委員長 小野 塚 量 委員 小野 保 " 高木 一郎 " 高木 清政子 教育長 蛭田 好一	植田町印刷所 代表 鯨 岡 一 細川 麻三 植田町本町七〇 電話二〇五番	秋山材木店 植田町本町電六 支店 金津橋苗代町電一六四	菊田印刷所 代表 鯨 岡 一 細川 麻三 植田町本町七〇 電話二〇五番	菊田劇場合資会社 東京千住のお化け煙突を 知っていますか? ◎七日より九日まで!! 特別上映!! 煙突の見える場所 田中、上原、花井、高峰、関 常務取締役 電話七七番	植田町商店 ◎定評ある「エスヤ」の 石油コンロ特賣中 日本石油株式会社代理店 株式会社 関 影 商店 植田 支店 植田町本町(飯川橋際) 電話二六一・三三七番
---	--	--	---	---	---

